CHOFU

石油瞬間給湯器
〔石油小形給湯機〕
取扱説明書

型名

IB-3832
IB-3832G
IB-3832F
IB-3862S
IB-3862SG
IBF-3862SG
IB-4512S
IB-4512SG
IB-4512E
IBF-4512SG

このたびは長府製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『**特定保守製品**』に指定されています。
  ご使用の前に、『**所有者票**』(製品に添付)を返送していただき、**所有者登録**を行ってください。
- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書はお買い求めの販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS1 号灯油）を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20588944（DU）

もくじ

ご使用の前に

	ページ
特に注意していただきたいこと	1
各部の名称とはたらき	
外観図	7
本体構造図	10
バーナー構造図	12
本体操作部・リモコン	13
使用前の準備	
燃料	14
給油	14
点火前の準備と確認	16

運転のしかた

使用方法	
給湯運転	17
凍結予防	19
運転再開始時の注意	22
安全装置	23
その他の装置	24
使用上の注意	25

上手に使ってね

日常の点検・手入れ	
点検・手入れのときの注意	26
点検･手入れの時期､必要項目､方法	26
定期点検	28
法定点検	28

故障かな？

故障・異常の見分けかたと処置方法	29
部品交換について	31
別売部品について	31
仕　様	32
アフターサービス	35
据付け	36

保証書	巻末

特に注意していただきたいこと

●ご使用の前に、この「**特に注意していただきたいこと**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

禁止		ガソリン厳禁	注意		高温注意	指示		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			感電注意			アースを接続すること
		分解禁止			一般的な警告・注意			必ず行うこと
		一般的な禁止						

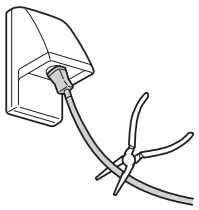
は参考になるページです。

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

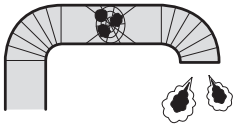
電源コードを切断して延長しない



電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

排気筒の閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)
IB-3832・3832G・3862S・3862SG
IB-4512S・4512SG・4512E



排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

⚠ 警告(WARNING)

給排気筒トップ閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

IB-3832F

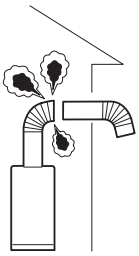
積雪の多い地方などでは、給排気筒トップの周りが雪やツララでふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

排気筒はずれ危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

IB-3832・3832G・3862S・3862SG
IB-4512S・4512SG・4512E

排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

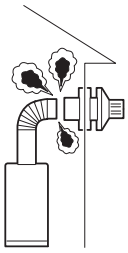


給排気筒(管、ホース)はずれ危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

IB-3832F

給排気筒(管、ホース)がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



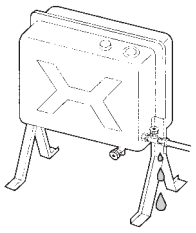
⚠ 注意(CAUTION)

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(機器・排気部・排気筒・エルボトップ・給排気筒・拡散排気筒)に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

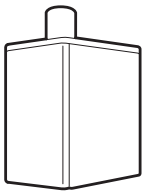
油漏れに注意

(火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

可燃物禁止



壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

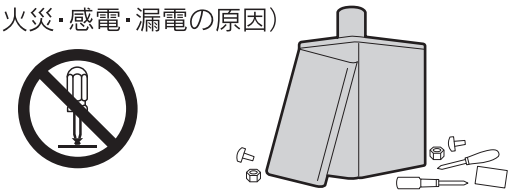
家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になります。業務用に使用すると、保証の対象外になります。
家庭の給湯やシャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

特に注意していただきたいこと

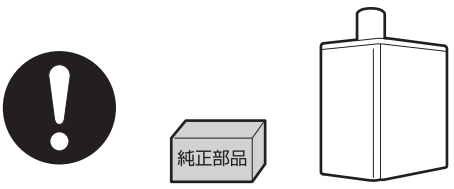
⚠注意(CAUTION)

分解修理・改造の禁止
（火災・感電・漏電の原因）



故障や破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

純正部品以外は使用しない



事故防止のため**当社純正部品**以外は使用しないでください。

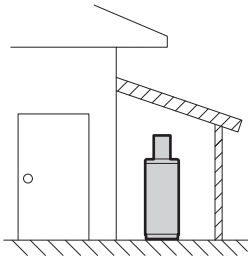
高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしても機器内の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。やけどのおそれがあります。

機器内のお湯を排水するときはやけどに注意

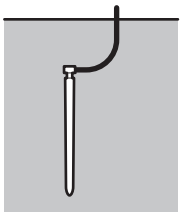
機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

囲い禁止
〔屋外設置の場合〕



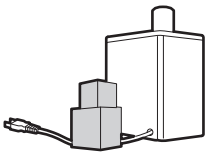
機器・排気部・エルボトップ・拡散排気筒を波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。

必ずアースをする



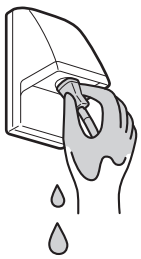
この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

電源コードを傷めない



電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険



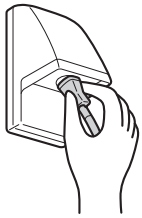
電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。

⚠注意(CAUTION)

電源プラグを抜いて停止させない

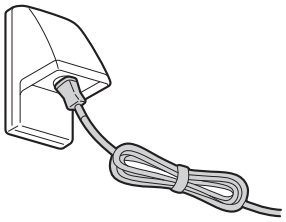
電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因になります。
必ずリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にして停止してください。

電源プラグは確実に差し込む



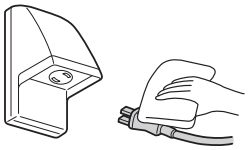
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードは束ねたまま使用しない



電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。
火災や発熱の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。23ページ

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
火災や思わぬ事故の原因になります。

21～22ページ

異常・故障時使用禁止

油漏れや臭い、ススの発生など異常や故障と思われるときは、使用しないでお買い求めの販売店にご連絡ください。
異常燃焼のおそれがあります。

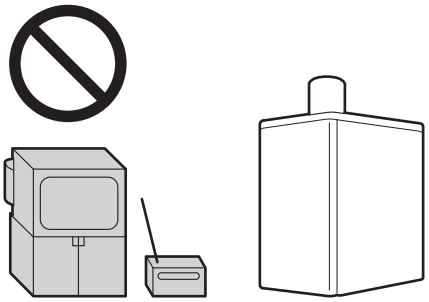
特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

高地で使用するときはご相談を…（燃焼不良の原因）

標高1,000～1,500mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
※標高1,500mを超える場所では使用できません。

電気器具の近くに設置しない

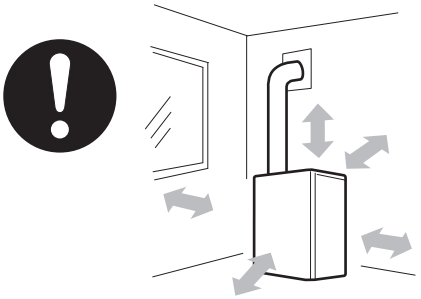


テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

落雷のおそれがあるときの処置

雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかにリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込んでください。

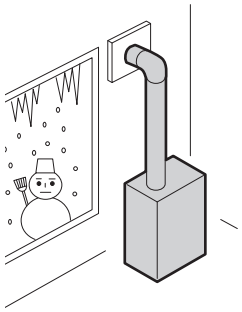
サービススペースの確保



機器の周囲には点検や整備のためのサービススペースを確保してください。前パネル側は必ず60cm以上あけてください。
（工事説明書参照）

凍結に注意

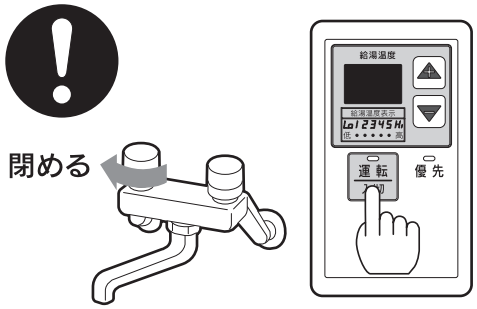
（故障の原因）



冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。

19～22ページ

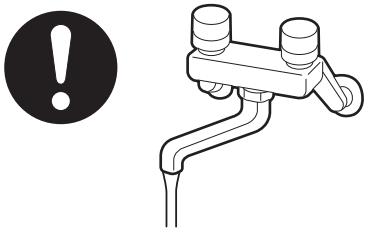
断水のときは



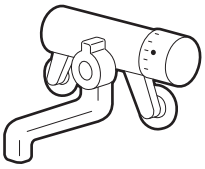
給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてください。

お願い(NOTICE)

混合水栓について

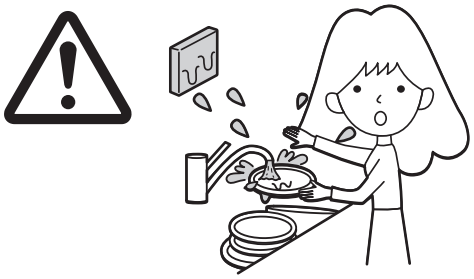


混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。(出湯量が少なくなる可能性があります。)水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



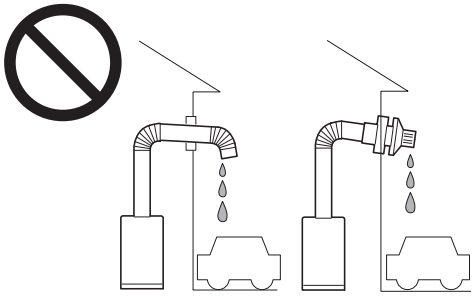
やけど防止のためサーモスタット付混合水栓（通水抵抗の少ないもの）の使用をおすすめします。リモコンの設定温度は湯温安定のため混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。

リモコンに水をかけない



リモコンに水をかけないでください。
故障の原因になります。

排気筒トップ・給排気筒の真下に物を置かない



排気筒トップ・給排気筒から排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。
真下に物などを置かないでください。

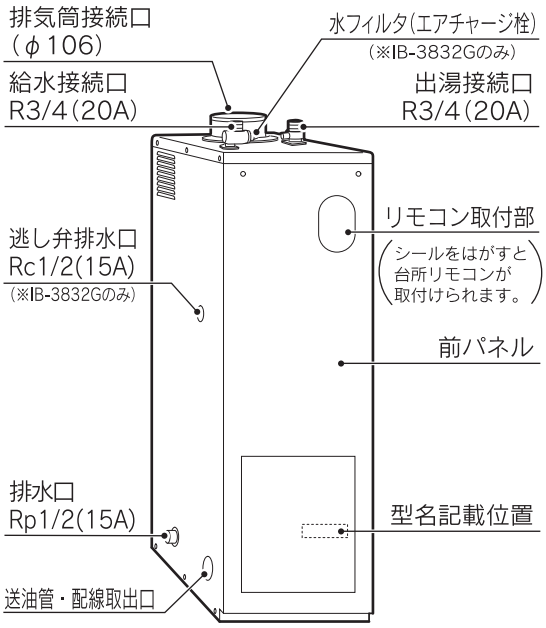
この機器は上水道用です

温泉水は使用しない
温泉水を使用すると水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。
地下水・井戸水使用時の注意
地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

各部の名称とはたらき

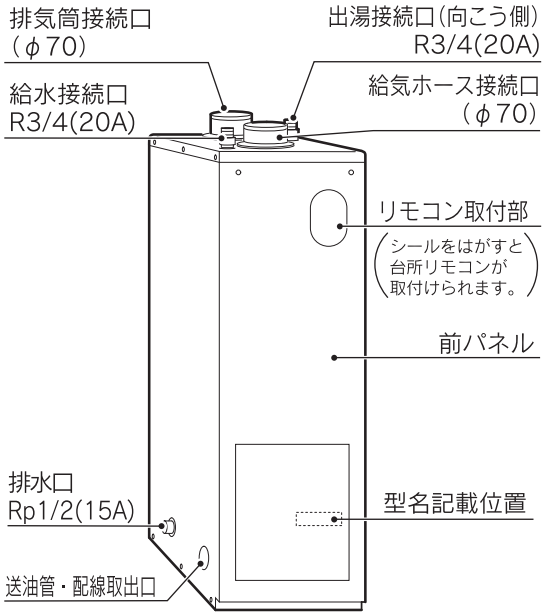
外観図

● IB-3832・IB-3832G



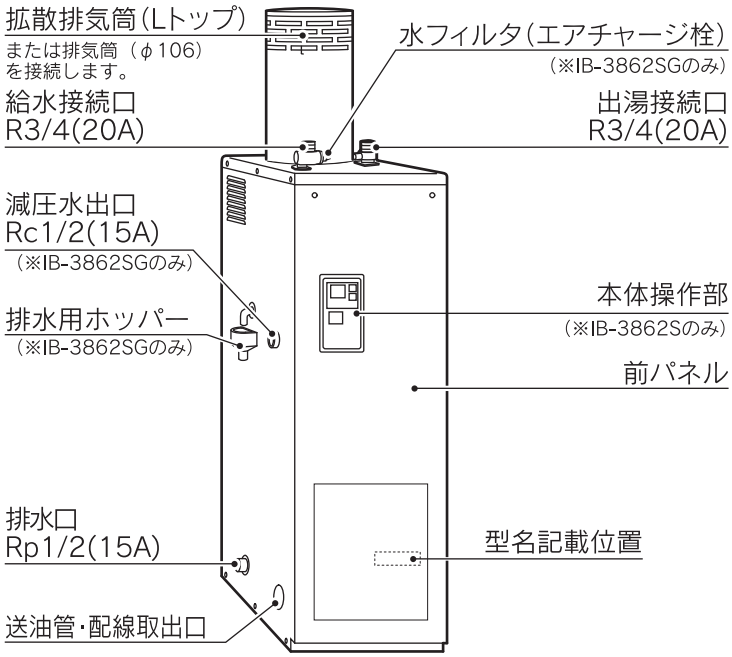
※排水口、送油管･配線取出口、
逃し弁排水口（IB-3832Gのみ）は、左右両側にあります。

● IB-3832F



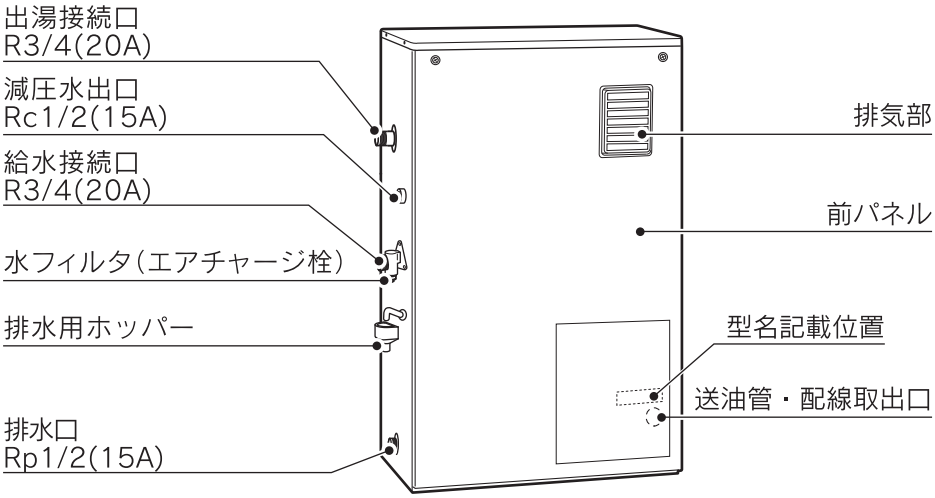
※排水口、送油管･配線取出口は、左右両側にあります。

● IB-3862S・IB-3862SG

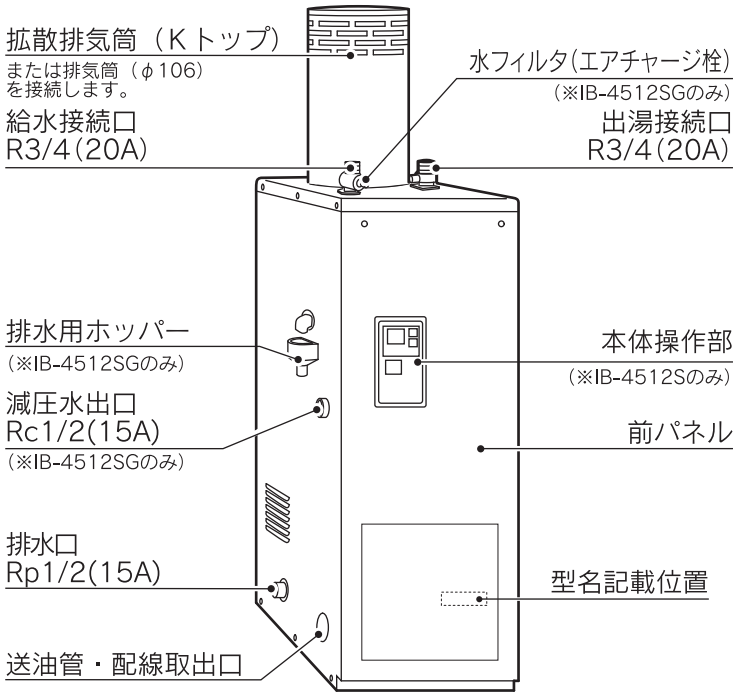


※排水口、送油管･配線取出口は左右両側にあります。

● IBF-3862SG



● IB-4512S・IB-4512SG

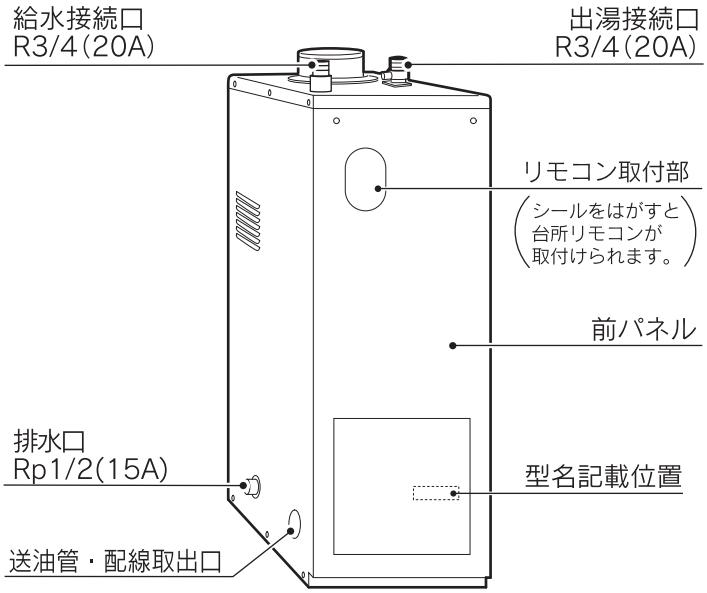


※排水口、送油管･配線取出口は左右両側にあります。

各部の名称とはたらき

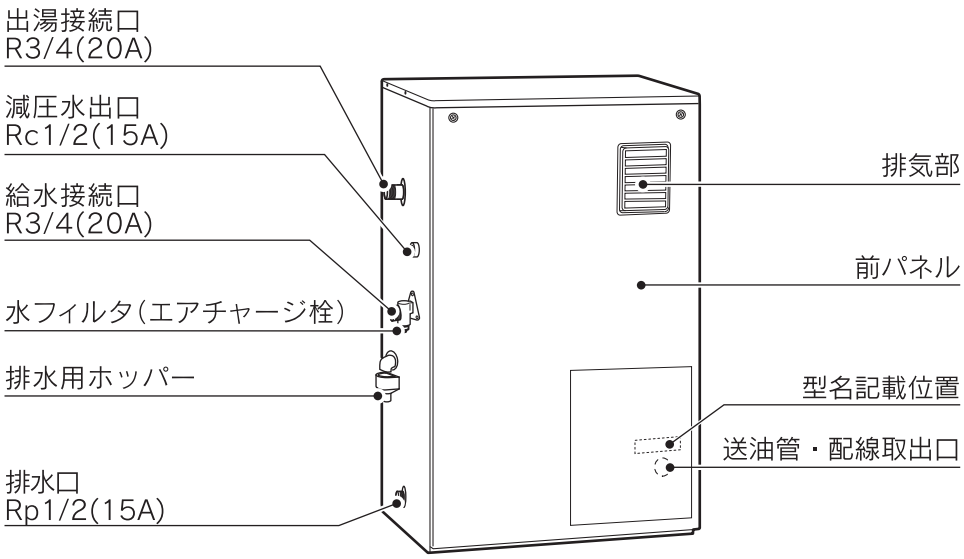
外観図

● IB-4512E



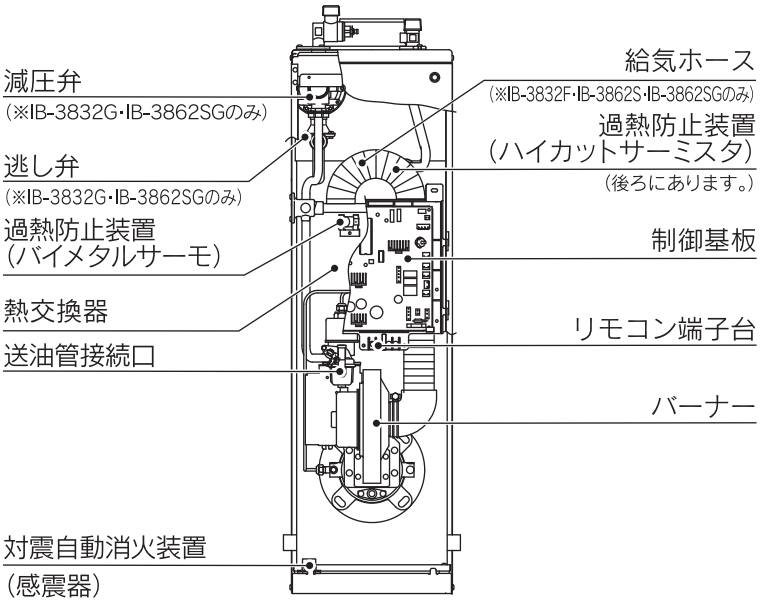
※排水口、送油管･配線取出口は左右両側にあります。

● IBF-4512SG



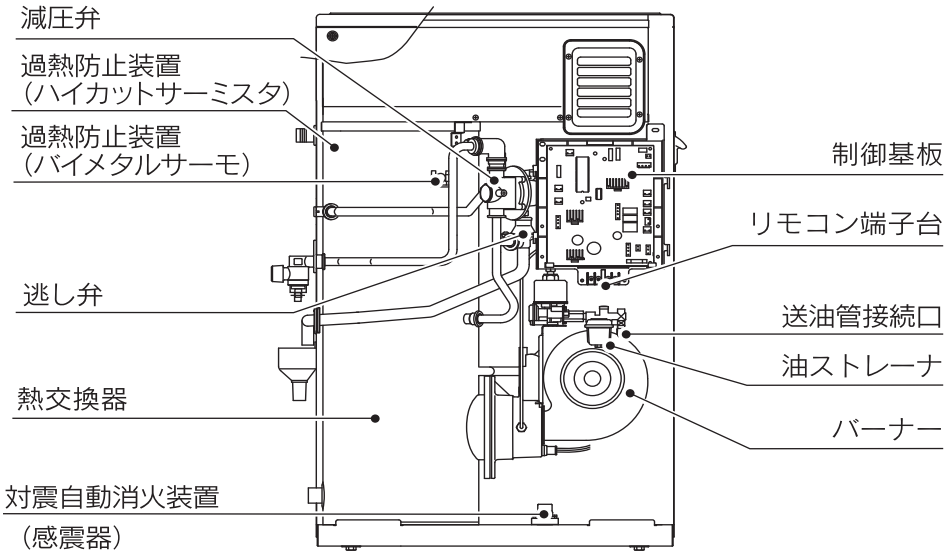
本体構造図

●IB-3832・IB-3832G・IB-3832F・IB-3862S・IB-3862SG



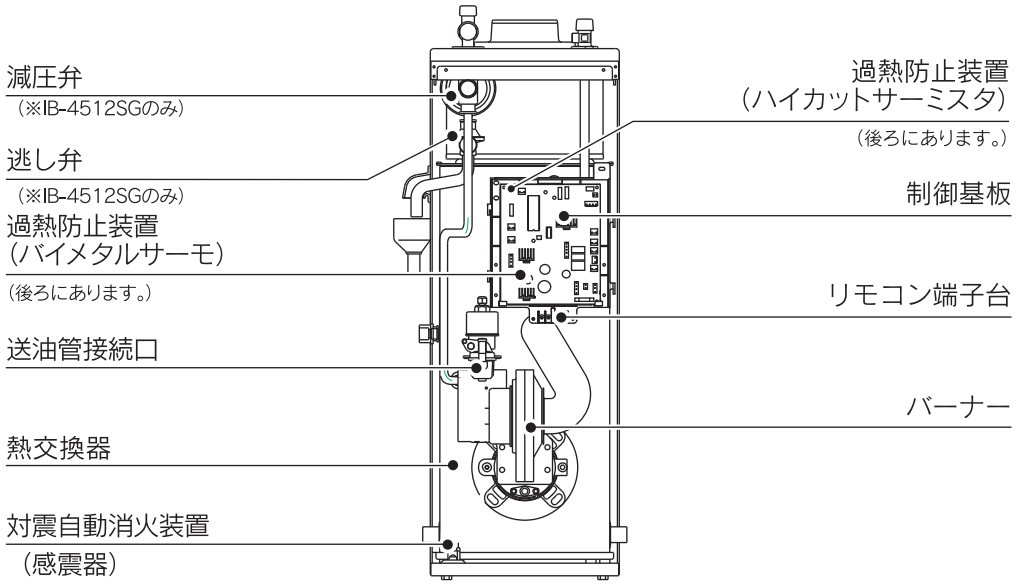
※図はIB-3862SGで説明しています。

● IBF-3862SG



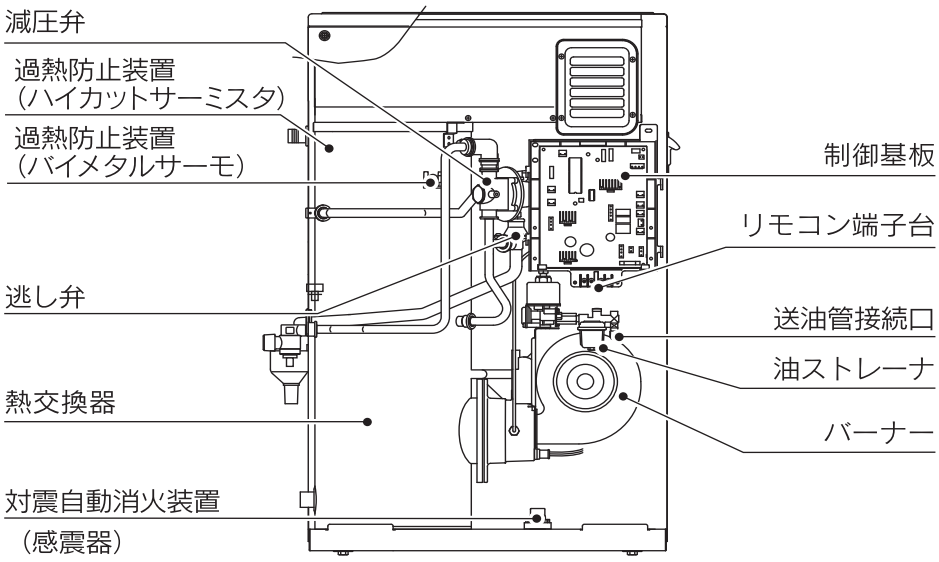
本体構造図

●IB-4512S・IB-4512SG・ IB-4512E



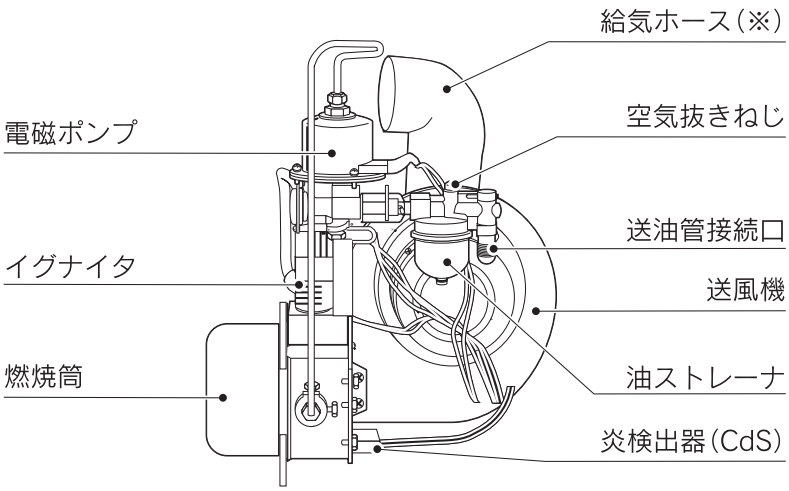
※図はIB-4512SGで説明しています。

●IBF-4512SG



バーナー構造図

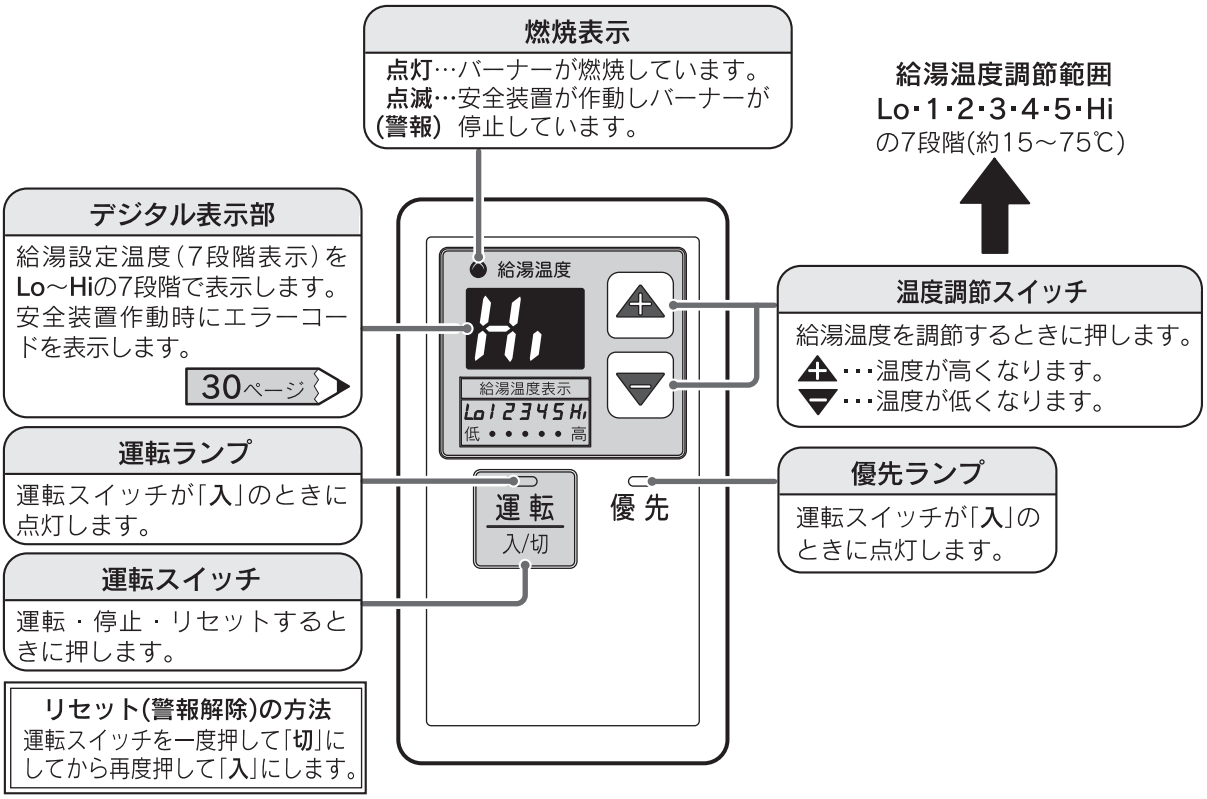
- SB-3830（IB-3832・IB-3832G・IB-3832F / IB-3862S・IB-3862SG 用）
- SBF-3830（IBF-3862SG 用）
- SB-4510A（IB-4512S・IB-4512SG 用）
- SB-4510（IB-4512E・IBF-4512SG 用）



※給気ホースは機器により、ないものや形状が違う場合もあります。

各部の名称とはたらき

本体操作部・リモコン（CMR-161）



使用前の準備

燃料

⚠警告

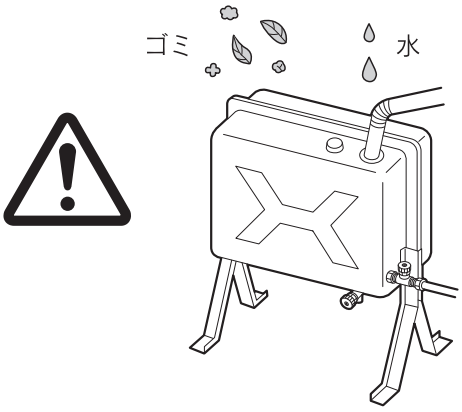
●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

●燃料は必ず灯油（JIS1 号灯油）を使用してください。

給油

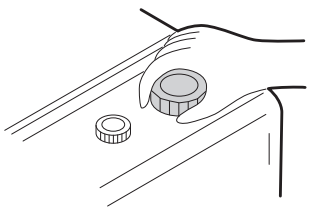
●給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意

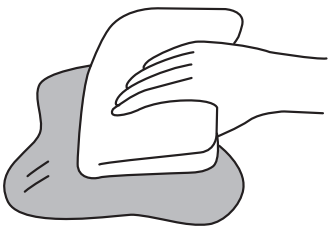


給油の際に水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に閉める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れをしたときは

⚠注意

●何度も空運転(電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転)をすると、電磁ポンプの寿命が短くなり、性能低下の原因になります。性能低下すると熱交換器内に油がたまることで燃焼不良の原因となり、排気部から発煙し建物の壁などを汚すおそれがあります。

燃料切れをしたときは警報を表示してお知らせします。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。(リセットすることにより、電磁ポンプを空運転し送油経路の空気抜きを行います。) 2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット(警報解除)の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

お知らせ

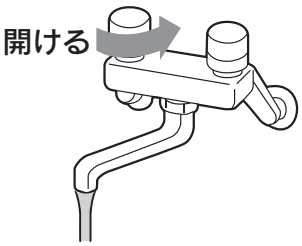
●燃料切れをしたときは、送油経路の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火しないで警報になることがありますが故障ではありません。

油切れ予告装置(別売部品・OC-3)を取付けたとき

●灯油がなくなる前に、リモコンにエラーコード「P2」を表示してお知らせします。「P2」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

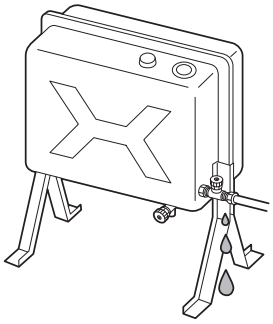
点火前の準備と確認

1 給水及び水漏れの確認



1. 給水元栓と給湯栓を開け、水が出ることを確認してください。
2. 機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

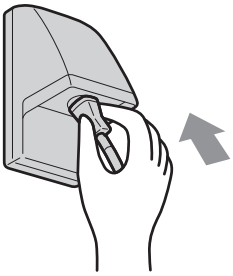
2 送油経路の点検



⚠注意

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

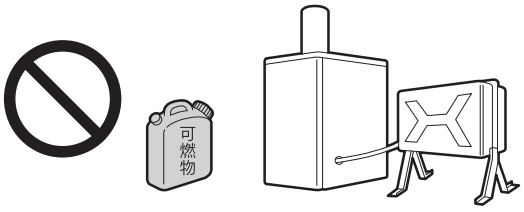
3 電源プラグの確認



⚠注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 周囲の点検



⚠注意

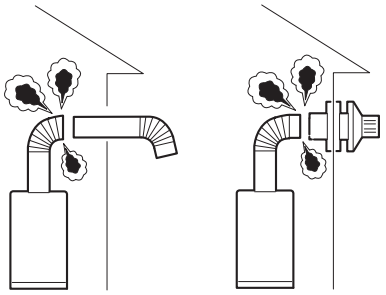
機器本体・排気部・油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

5 給排気筒の確認

〔屋内設置の場合〕

⚠警告

排気筒･給排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと､またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり､ススがついているときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



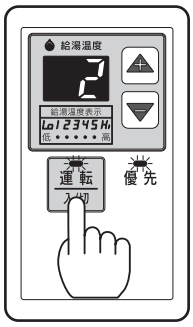
使用方法

給湯運転（お湯を出します）

⚠注意

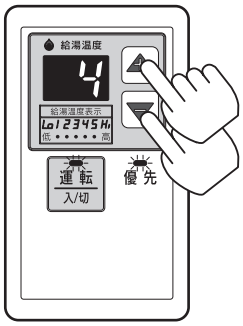
- ●シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- ●シャワーを使用するときはリモコンの給湯設定温度を確認し、いきなり体や頭にかけずに必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ●給湯温度をよく確認してから使用してください。高温(Hi・5・4)で使用した後、再度使用するときは特に注意してください。
- ●停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

1 運転スイッチを押して「入」にする



運転ランプ、優先ランプが点灯します。

2 温度調節スイッチを押す



温度調節スイッチを押しご希望の温度に調節してください。
設定温度はLo～Hi（約15～75℃）の範囲で7段階に調節できます。

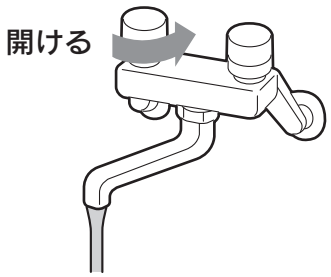
給湯温度のめやす

給湯温度表示部	給湯温度
高 Hi	75℃
• 5	60℃
• 4	50℃
• 3	45℃
• 2	40℃
• 1	35℃
低 Lo	15℃

お知らせ

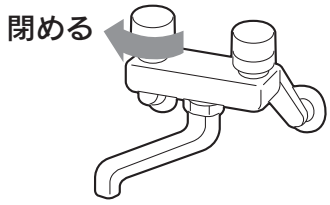
- ●給湯温度はめやすです。
- ●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、給湯設定温度をサーモスタット付混合水栓の設定温度より高くしてください。低い温度に設定すると、混合水栓から出てくるお湯の温度がご希望の温度にならないことがあります。
- ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの設定温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。

3 給湯栓を開ける



お湯が出ます。
温度が下がると自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯します。

4 給湯栓を閉める



長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてください。リモコンの運転ランプが消灯します。（凍結のおそれがあるときは、凍結予防の処置を行ってください。）

19～22ページ

給湯量と給湯温度の早見表

●給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。（給水温度が約 20℃のとき）
●給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。
●給湯量は機器から出湯できる最大能力を記載しています。

給湯温度（℃）	給湯量(L/h)	
	IB-3832・IB-3832G・IB-3832F IB-3862S・IB-3862SG・IBF-3862SG	IB-4512S・IB-4512SG IB-4512E・IBF-4512SG
45	1,300	1,560
50	1,080	1,300
60	810	970
75	590	700

凍結予防

●冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがありますので凍結予防が必要です。

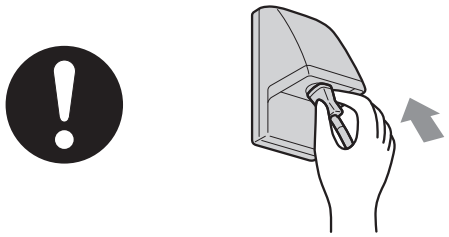
凍結予防装置による方法(自動)

電源プラグの確認

(給水経路の凍結予防)

⚠注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでおくことにより、凍結予防ヒータにより機器内の給水経路を保温します。

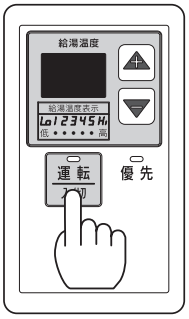


●冷え込みが厳しいときや、風が強いときは凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「**じゃ口から水を流す方法**」または「**機器内の水を抜く方法**」の処置を行ってください。

じゃ口から水を流す方法

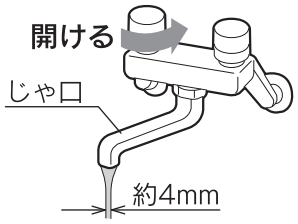
「**凍結予防装置による方法**」も必ず同時に行ってください。

1 運転スイッチを押して「切」にする



※運転スイッチが「**入**」のとき

2 給湯栓を開ける



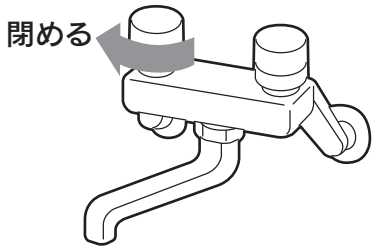
2ハンドル混合水栓の湯側を開けて、じゃ口から毎分 400cc 程度(約 4mm)の水を流したままにします。
シングルレバー混合水栓をお使いの場合は、レバーを湯側にして開けてください。

お知らせ

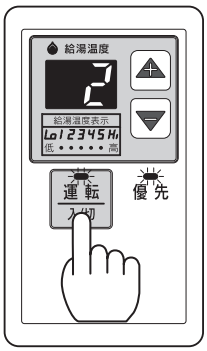
●機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
●流量が不安定なことがありますので、30 分後にもう一度確認してください。
●この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので電源プラグは抜かないでください。

バーナーを運転させる方法

1 給湯栓を閉める

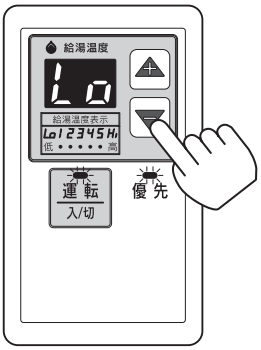


2 運転スイッチを押して「入」にする



運転ランプ、優先ランプが点灯します。

3 温度調節スイッチを押す



給湯温度設定を「**Lo**」(**低**)にします。

お知らせ

- ●配管・バルブなどの凍結予防はできませんので必ず充分に保温してください。
- ●特に冷え込みが厳しいと予想される日は、温度調節スイッチを一度「**Hi**」(**高**)にして、しばらくおき(数分間)熱交換器内の湯温を上げてから「**Lo**」(**低**)に設定してください。
- ●バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。
  凍結したまま運転すると機器を破損するおそれがあります。
- ●この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので電源プラグは抜かないでください。

使用方法

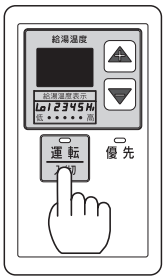
⚠ 注意

●機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。
熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

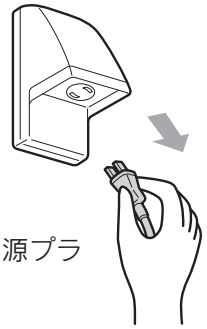
機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません。）

1 運転スイッチを押して「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

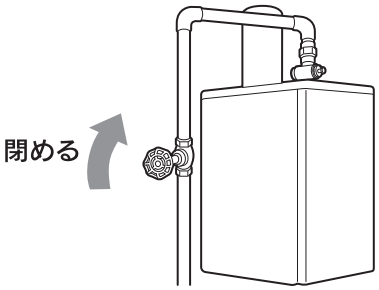


2 電源プラグを抜く

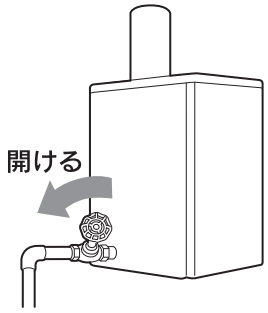


送風機が停止してから電源プラグを抜いてください

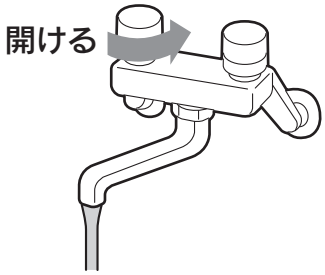
3 給水元栓を閉める



4 排水栓を開ける



5 給湯栓を開ける

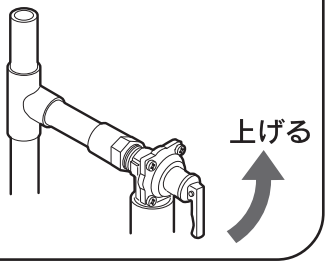


シングルレバー混合水栓をお使いのときはレバーを湯側にして開けてください。

6 逃し弁のレバーを上げる

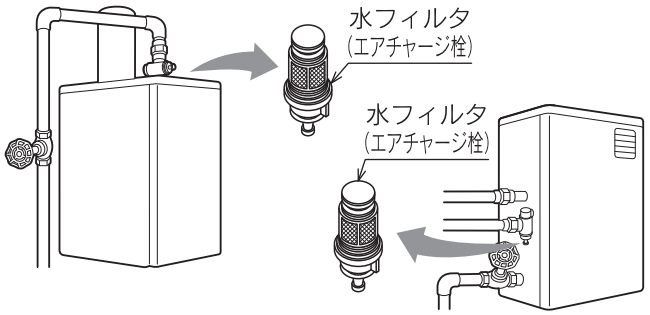
IB-3832・3832F・3862S
IB-4512S・4512E

逃し弁のレバーを上げて、配管内の水を抜いてください。



7 水フィルタをはずす

IB-3832G・3862SG・4512SG
IBF-3862SG・4512SG



お知らせ

●配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。

運転再開始時の注意

●機器を運転する前には必ず給湯栓、排水栓を閉め、水フィルタ(エアチャージ栓)を元通りに取付け、給水元栓を開けてください。
その後、**「使用前の準備」・「使用方法」**に従って使用してください。
確認しないで運転すると機器が破損することがあります。

14～18ページ

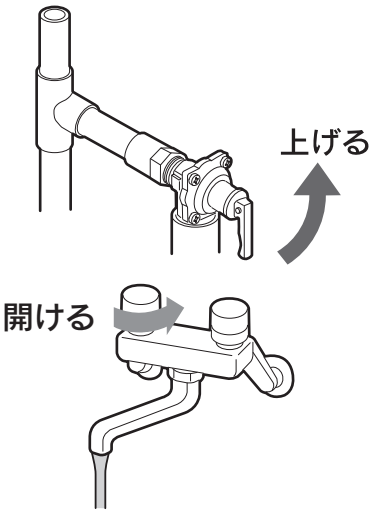
1 逃し弁のレバーを上げる

IB-3832・3832F・3862S
IB-4512S・4512E

逃し弁のレバーを上げて、排水管から水が出てくることを確認してください。確認後はレバーを元にもどしてください。

2 水が出ることを確認

機器からできるだけ離れた1箇所の給湯栓を開けて、水が出ることを確認してください。
水が出にくいときは凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。



安全装置

安全装置	は　た　ら　き	装置が作動したあとは
対震自動消火装置（感震器）	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動停止します。	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置（制御基板）	バーナーが着火ミス・失火・異常燃焼したときに作動して自動停止します。	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動停止します。	再通電後は自動的に停電前の状態に戻ります。使用中に停電した場合は、再通電後は自動的に運転を開始しますので、使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
過熱防止装置	サーミスタ、燃焼制御装置（制御基板）の故障や空だきにより熱交換器が、異常に過熱したときに作動して自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット（警報解除）の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
凍結予防装置 (IB-4512S･3862Sは除く)	外気温が約3℃以下になると、凍結予防ヒータが自動的に機器本体の給水経路を保温します。	外気温が13℃以上になると自動的に切れます。
電流ヒューズ (10A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動停止します。 送風機ヒューズが切れたときはエラーコードを表示してお知らせします。	電源プラグを抜きお買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機ヒューズ (3A)		
油切れ予告装置 (別売部品)	油タンク内の灯油の残量が少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	エラーコードを表示しても、機器はしばらく運転を継続しますが、すみやかに給油してください。

使用上の注意

⚠注意

排気筒・拡散排気筒・給排気筒・排気部に注意

●燃焼中や消火直後の排気筒・拡散排気筒・給排気筒・排気部は高温です。手など触れないように注意してください。やけどのおそれがあります。

高温注意

●シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワー使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。リモコンの運転スイッチを「**切**」にしても機器内部の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめてください。

安全装置が作動したときは

●安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。

23ページ

機器内の水について

●機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより水質が変わることがあります。飲用または調理には用いないでください。

油切れに注意

●油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。
●別売部品の油切れ予告装置を取付けると、リモコンに給油のタイミングをお知らせします。

日常の点検・手入れを行う

15ページ
26・27ページ

停電後の使用方法

●停電すると運転スイッチは「**切**」になります。一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。
リモコンの運転スイッチを押し、「**入**」にして使用してください。
停電中は給湯栓を閉めてください。

長期間使用しないとき

●長期間使用しないときは凍結予防の「**機器内の水を抜く方法**」に従って水抜きを行ってください。

21・22ページ

地震などの被害があったとき

●リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にして、電源プラグを抜いて使用を中止してください。
機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

冬期に停電したとき

●凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「**じゃ口から水を流す方法**」または「**機器内の水を抜く方法**」に従って凍結予防を行ってください。

19・21・22ページ

日常の点検･手入れ

点検・手入れのときの注意

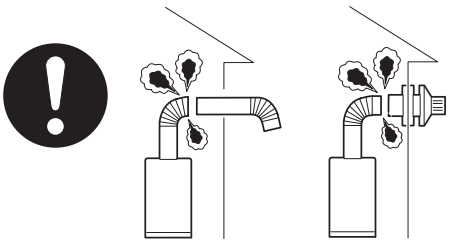
⚠注意

●点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
●点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
●点検・手入れのときは必ず手袋などの保護具を着用してください。
●部品の分解・調整は絶対にしないでください。
●異常があるときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

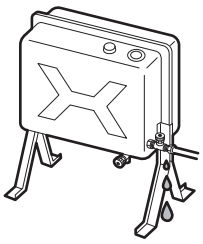
排気筒・給排気筒接続部の緩み、排気筒・給排気筒の周囲



⚠警告

排気筒・給排気筒の接続部に緩みがないこと、排気筒・給排気筒の周囲に可燃物がないこと、またススがついてないことを確認してください。緩んでいたり、ススがついているときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

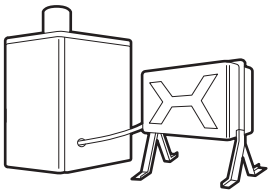
油漏れ、油のたまり、油のにじみ



⚠注意

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

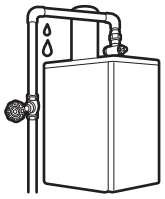


⚠注意

機器・排気筒・給排気筒・拡散排気筒・排気部および油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないことを確認してください。

適時に

水漏れ



機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

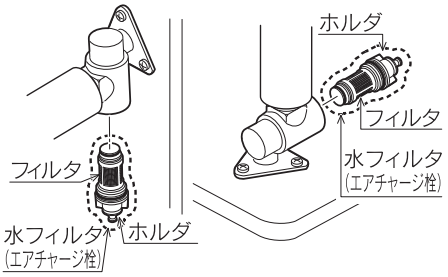
日常の点検・手入れ

1 年に 1 回以上

水フィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

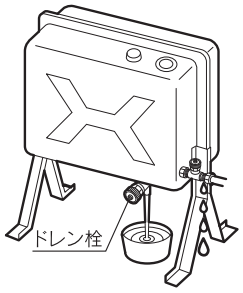
1. 給水元栓を閉め、水フィルタをはずします。
2. 水フィルタのホルダについているフィルタを掃除します。
   フィルタを変形させないようにしてください。
3. 掃除後は水フィルタを取付け、給水元栓を開けた後、給湯栓を開け、配管内の空気を抜いてください。



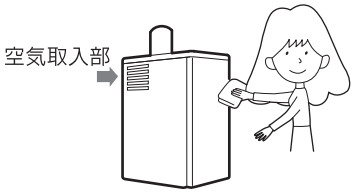
※フィルタはホルダからはずさないでください。

油タンク

油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開けて抜きとってください。
ドレン栓の形状はタンクによって異なります。



ほこり



機器外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
必ず手袋などをしてください。
特に機器側面または背面の空気取入部にたまったほこりをふきとってください。
(IB-3832F を除く)

逃し弁の確認

逃し弁の排水ホース(排水管)から、常時水が漏れていないか確認してください。常時水が漏れていたら、逃し弁または減圧弁の故障が考えられますので、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。

熱交換器の掃除

熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

1. 電源プラグを抜きます。
2. 給水元栓を閉めます。
3. 機器の排水栓と給湯栓を開け、熱交換器内の水を排水します。
4. 排水したら給水元栓を開け、きれいな水が出てきたら排水栓と給湯栓を閉めます。

油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまっていないことをお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

ゴム製送油管の点検・交換のめやす

IB-3832・3832G・3832F・4512E

ゴム製送油管を点検し、傷やひび割れがあるときはお買い求めの販売店に交換を依頼してください。
ゴム製送油管は傷やひび割れがなくても 3 年に 1 回程度は交換してください。

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
●定期点検は、お買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

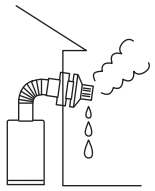
法定点検

●この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
●この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、**添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。**
●詳しくは「**特定保守製品についての説明書**」をご覧ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。
修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現　象	説　　明
排気筒・給排気筒・排気部・拡散排気筒から白い煙や湯気が出る	排ガスが水蒸気を含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えるためです。 
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えたり、小さな泡となって出てくるためです。
給湯温度・給湯量が不安定なことがある	他の混合水栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出ない	機器から混合水栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
油を切らした後、給油しても火がつかない	油が切れた後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火がつきません。15ページ
お湯の出が悪くなった	水フィルタ、給湯栓のフィルタにゴミがつまっていませんか。掃除してください。
運転スイッチを押して「**切**」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
逃し弁の排水管からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。
リモコン（本体操作部）の表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。リモコンの運転スイッチを「**切**」にしていても、電子回路が作動しているので発熱があります。

エラーコード一覧

●エラーコードをリモコンの表示部に表示します。
●エラーコードが表示されたときは以下の処置を行ってください。
●確認・処置後リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説　明	確 認 ・ 処 置
E1	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。 何度もリセットを繰り返すと危険です。 2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E2	炎検出器異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	途中失火	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。 何度もリセットを繰り返すと危険です。 2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
E4	過熱防止装置作動 （バイメタルサーモ作動）	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	制御基板（記憶回路）異常	電源プラグを差し直してください。
E7	送風機異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E9	外気温サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。凍結していない場合は運転できますが、このままでは凍結予防ができません。
H7	ハイカットサーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
HC	過熱防止装置作動 （ハイカットサーミスタ作動）	
P2	油切れ予告装置作動 （別売部品）	油タンクに給油してください。
P3	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認してリセットしてください。
74 76	通信異常	電源プラグを差し直してください。

■リセット（警報解除）の方法

リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

●部品は必ず**当社純正部品**を使用してください。
●故障したままで使用しないでください。
●故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

⚠注意

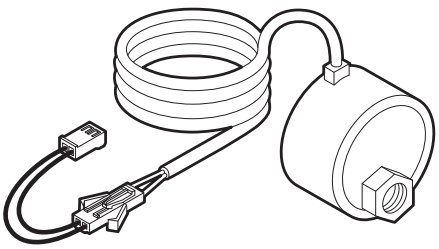
●給排気筒のＯリングは右のものを使用しています。
IB-3832F のみ

種　類	４種Ｄ（フッ素） (JIS B2401)
呼　び	P70

別売部品について

油切れ予告装置 (OC-3)

●この機器には油切れ予告装置を取付けることができます。
取付けはお買い求めの販売店にご相談ください。



仕　様

型名		IB-3832	IB-3832G	IB-3832F
型式の呼び		IB-383		
種類		圧力噴霧式、貯湯式急速加熱形		
		水道直結式、シスターン式	水道直結式	水道直結式、シスターン式
		屋内用半密閉式強制排気形		屋内用密閉式強制給排気形
点火方式		高圧放電式		
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)		
燃料消費量		43.2kW(4.20L/h)		
連続給湯効率		87.5%		
連続給湯出力		37.8kW(32,500kcal/h)		
熱交換器容量		12.5L		
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa(1kgf/cm²)		
伝熱面積		0.91㎡		
外形寸法		高さ866mm　幅256mm　奥行514mm		
質量		26kg	28kg	26kg
電源電圧及び周波数		100V　50/60Hz		
定格消費電力	点火時	95/95W		
	燃焼時	75/75W		
待機時消費電力		1.8W		
排気筒の呼び径		106		—
給排気筒の型式の呼び		—		FF-70-091またはFF-70-092
給排気筒呼び径		—		D70
給排気筒の壁貫通部の孔径		—		φ120mm
排気温度		260℃以下		
騒音レベル		47dB(A)(室内・正面)		46dB(A)(室内・正面)
ノズル	噴霧量	1.2GPH		
	スプレーパターン	ダンフォス社のKHCパターン		
	噴霧角度	60°		
電流ヒューズ		10A		
送風機ヒューズ		3A		
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
その他の装置		凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置（別売部品）		
付属品		アミ付エルボトップ・排気消音筒		給排気筒一式（別梱包）
		プラグ(1/2)1個	プラグ(1/2)2個	プラグ(1/2)1個
		リモコン一式(本体接続用リモコンコード付)・送油管接続パイプ・ゴム製送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋		
別売部品		リモコンコード・油切れ予告装置		
バーナー型名		SB-3830		
区分名(省エネ法)		B		
エネルギー消費効率		87.5%		

仕　様

型名		IB-3862S	IB-3862SG	IBF-3862SG
型式の呼び		IB-386		IBF-386
種類		圧力噴霧式、貯湯式急速加熱形		
		水道直結式、シスターン式	水道直結式	
		屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形		屋外用開放形
点火方式		高圧放電式		
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)		
燃料消費量		43.2kW(4.20L/h)		
連続給湯効率		87.5%		
連続給湯出力		37.8kW(32,500kcal/h)		
熱交換器容量		12.5L		
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa(1kgf/cm²)		
伝熱面積		0.91㎡		
外形寸法		高さ866mm　幅256mm　奥行514mm		高さ875mm 幅550mm 奥行277mm
質量		25kg	26kg	31kg
電源電圧及び周波数		100V　60Hz	100V　50/60Hz	
定格消費電力	点火時	90W	90/90W	100/100W
	燃焼時	70W	70/70W	80/80W
待機時消費電力		1.8W		
排気筒の呼び径		106		–
排気温度		260℃以下		
騒音レベル		50dB(A)		50dB(A)
ノズル	噴霧量	1.2GPH		
	スプレーパターン	ダンフォス社のKHCパターン		
	噴霧角度	60°		
電流ヒューズ		10A		
送風機ヒューズ		3A		
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置		
その他の装置		電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置（別売部品）		
		–	凍結予防装置	
付属品		送油管・取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋		
		拡散排気筒(Lトップ・別梱包)	排水用ホッパー・給水口保温材 リモコン一式(リモコンコード付) 拡散排気筒(Lトップ・別梱包)	転倒防止金具・給水口保温材 排水用ホッパー リモコン一式(リモコンコード付)
		プラグ(1/2)1個	プラグ(1/2)1個	–
別売部品		リモコンコード	油切れ予告装置	
バーナー型名		SB-3830		SBF-3830
区分名(省エネ法)		B		
エネルギー消費効率		87.5%		

型名		IB-4512S	IB-4512SG	IB-4512E	IBF-4512SG
型式の呼び		IB-451			IBF-451
種類		圧力噴霧式、貯湯式急速加熱形			
		水道直結式、シスターン式	水道直結式	水道直結式、シスターン式	水道直結式
		屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形		屋内用半密閉式強制排気形	屋外用開放形
点火方式		高圧放電式			
使用燃料		灯油(JIS1号灯油)			
燃料消費量		51.4kW(5.00L/h)			
連続給湯効率		87.5%			
連続給湯出力		45.3kW(39,000kcal/h)			
熱交換器容量		15.9L			
使用圧力(最高使用圧力)		0.1MPa(1kgf/cm²)			
伝熱面積		0.95m²			
外形寸法		高さ833mm　幅300mm　奥行591mm			高さ898mm 幅590mm 奥行300mm
質量		33kg	34kg	34kg	35kg
電源電圧及び周波数		100V　60Hz	100V　50/60Hz		
定格消費電力	点火時	115W	120/115W		115/110W
	燃焼時	95W	99/95W		92/90W
待機時消費電力		1.8W			
排気筒の呼び径		106			–
排気温度		260℃以下			
騒音レベル		50dB(A)			50dB(A)
ノズル	噴霧量	1.35GPH			
	スプレーパターン	ダンフォス社のKHCパターン			
	噴霧角度	60°			
電流ヒューズ		10A			
送風機ヒューズ		3A			
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置			
その他の装置		電流ヒューズ・送風機ヒューズ・油切れ予告装置（別売部品）			
		–	凍結予防装置		
付属品		取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋			
		送油管 拡散排気筒(Kトップ・別梱包)	排水用ホッパー・送油管 リモコン一式(リモコンコード付) 給水口保温材 拡散排気筒(Kトップ・別梱包)	アミ付エルボトップ ゴム製送油管 送油管接続パイプ リモコン一式(本体接続用リモコンコード付)	排水用ホッパー・送油管 リモコン一式(リモコンコード付) 給水口保温材
		プラグ(1/2)1個	プラグ(1/2)1個	プラグ(1/2)1個	–
別売部品		リモコンコード		リモコンコード	
		油切れ予告装置			
バーナー型名		SB-4510A		SB-4510	
区分名(省エネ法)		B			
エネルギー消費効率		87.5%			

アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に29・30ページの**「故障・異常の見分けかたと処置方法」**の項を見て、もう一度確認してください。不具合があるときはお客様ご自身で修理せず、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. **品名……石油瞬間給湯器**
2. **型名……機器の前パネルに貼ってあるシールに記載されています。**

IB-3832 | IB-3832G | IB-3832F

IB-3862S | IB-3862SG | IBF-3862SG

IB-4512S | IB-4512SG | IB-4512E | IBF-4512SG

7～9ページ

3. **お買い上げ年月日**
4. **故障の状況……できるだけ詳しく**
5. **ご住所、お名前、電話番号**
6. **訪問ご希望日**

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています（巻末）

●正常な使用状態において故障した場合は、保証書の規定に従って修理いたします。
お買い求めの販売店にご連絡ください。

●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。

●家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

●凍結やスケール（石灰づまり）による故障は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後 11 年です。

●性能部品とはこの製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

●据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

●据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準などの法令の基準があります。工事説明書の**「特に注意していただきたいこと」**をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談してください。
また、**「標準据付例」**は工事説明書を参照してください。

騒音防止について

●設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選択してください。

転居または機器を移設するとき

●転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

●据付けが終りましたら、もう一度、工事説明書の**「特に注意していただきたいこと」**をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることを確認してください。

試運転（試運転はお買い求めの販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。）

運転準備

準 備 内 容（確 認 事 項）	チェック
1. 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
2. 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
3. 送油管が逆Ｕ字型になっていませんか。	
4. 給水元栓を開き、給湯栓を開くと水が出ますか。	
5. 機器や配管から水漏れはありませんか。	
6. リモコンは確実に接続されていますか。	
7. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

1. 運転開始手順
   運転スイッチを押して**「入」**にしてください。運転ランプ、優先ランプが点灯します。給湯栓を開け、温度調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

2. 初期運転時の異常現象
   運転開始時に電磁ポンプから「**ビービー**」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼をはじめます。

3. 正常燃焼のめやす
   湯温調節できること、排気筒・給排気筒・排気部・拡散排気筒からススや煙が出ていないこと、また異音がしていないことを確認してください。

4. 停止
   リモコンの運転スイッチを押して**「切」**にしてください。運転ランプ、優先ランプが消灯します。

お知らせ

- 試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
- リモコンの燃焼表示が点滅してバーナーが停止したときは、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。

30ページ

長府石油瞬間給湯器保証書（販売店様控）

型　　名	IB-3832・IB-3832G・IB-3832F・IB-3862S・IB-3862SG IBF-3862SG・IB-4512S・IB-4512SG・IB-4512E・IBF-4512SG
★製造番号	No.
保証期間	1　　年

★お買い上げ日	年　　月　　日
★お　客　様	ご住所 お名前　　様 電話　　（　　）
★販　売　店	住所・店名 ㊞ 電話　　（　　）

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

(1) 本保証書（販売店様控）及び次のページの保証書（お客様控）の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書（お客様控）は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。

(2) 本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

△切り取り線▽

株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　☎(083)248-1111

長府石油瞬間給湯器保証書（お客様控）

型　　名	IB-3832・IB-3832G・IB-3832F・IB-3862S・IB-3862SG IBF-3862SG・IB-4512S・IB-4512SG・IB-4512E・IBF-4512SG
★製造番号	No.
保証期間	1　　年

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

★お買い上げ日	年　　月　　日
★お客様	ご住所 お名前　　様 電話　　（　　）
★販売店	住所・店名 ㊞ 電話　　（　　）

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で、本保証書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

(1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
(2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
(3) 一般家庭用以外に使用されたことに起因する不具合
(4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
(5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
(6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
(7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
(8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
(9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
(10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
(11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
(12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
(13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物（炭酸カルシウム等）に起因する不具合
(14) 公害による不具合
(15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
(16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

1. この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所にお問い合わせください。
3. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　☎(083)248-1111

おぼえがき

お買い上げ日	年　　月　　日
販売店名	
	電話番号

●記入しておくと修理などの依頼のときに便利です。

愛情点検

長年ご使用の石油給湯器の点検を！

こんな症状はありませんか？

- ●油漏れがある。
- ●煙が出たり、強い臭いがする。
- ●運転中にこげくさい臭いがする。
- ●異常な音や振動がする。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理を相談してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU 長府製作所

●本社 ——— 山口県下関市長府扇町2-1

●お問い合わせ先

本社・営業部	〒752-8555	下関市長府扇町2-1	☎(083)248-1111 FAX(083)248-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛岡営業所	〒020-0122	盛岡市みたけ5-15-50	☎(019)641-0811
仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1-4-6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東京支店	〒160-0022	新宿区新宿5-14-6	☎(03)5369-3511
横浜営業所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千葉営業所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金沢営業所	〒921-8550	金沢市玉鉾4-17	☎(076)292-3111
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野洲市野洲1473-1	☎(077)588-4111
大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	☎(06)6338-7111
香川営業所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡山営業所	〒700-0976	岡山市北区辰巳3-111	☎(086)245-1111
広島営業所	〒732-0811	広島市南区段原1-1-1	☎(082)261-5111
福岡営業所	〒812-0063	福岡市東区原田4-2-7	☎(092)629-5111
沖縄営業所	〒901-2101	浦添市西原3-18-10	☎(098)877-3111